



## 「夏の釣り・BBQ遠足」報告

当事業所は未就学児、小・中・高校生、及び18歳以上の障がいのある方が通所する、主に放課後等デイサービスを運営している団体です。8月3日(土)、秋川国際マス釣場で釣り体験、及びBBQを楽しむ目的で遠足を実施しました。毎年夏に、「普段ご家庭や学校で経験したことのないことを、この遠足が貴重な体験の場になり経験してほしい」をコンセプトに、遠足を企画しています。今年度は、釣りを体験してみようと数回の会議を経て決定しました。障がいのある方の遠足としては、リスクにも思いましたが、体験してもらいたい意見の方が勝り、決定に至りました。

5月19日(日)に下見に行った際にたまたまJOFI西東京さんと出会い、多様なアドバイスを頂戴して、更に遠足当日もお手伝いに来て頂けるとの話になりました。我々スタッフは、釣りの経験者が殆どいない状況の中で、今回のお話は助かりました。

当日の遠足では、スタッフは利用者の支援に徹することができました。当日は交通渋滞により、バスが予定より遅れて到着して、正味3時間程の滞在でした。しかし、釣り指導やマスの内臓処理をJOFI西東京さんをお願いしたおかげで、利用者にとってはかけがえのない貴重な体験ができた時間でした。

## フルライフスマートケア川崎 指導員 佐藤信道

以下、保護者の感想です。

- ・釣りとBBQの楽しかったことを話してくれました。とても貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
  - ・魚の話を楽しんでくれました。ありがとうございました。
  - ・お土産のマスも家族で美味しく頂きました。ありがとうございます。
  - ・夏休みはどこにも連れて行ってあげることができないので、貴重な経験ができた有難いです。家ではお魚の真似をしていました。
- ご家族もお土産のマスが美味しかったと多数の声を頂きました。



ニジマスつかみ取りプール



ニジマス釣り指導



## 「障がいのある方の釣り体験を指導して」

放課後等デイサービス事業所「フルライフスマートケア川崎」の「釣り体験」企画に賛同して、JOFI西東京から本田、浅野、上野、馬場、駒込、村松、石丸、中澤とJOFI東京の鈴木会長が参加して指導に当たりました。この取り組みは、5月19日の「親子マス釣り懇親会」の折りに、下見に来ていたスマートケアの人達との出会いから始まったものです。8月3日当日は、交通渋滞で皆さんのバスが大幅に遅れての到着となりましたが、本田さんの手持ちのターフ、テーブル、椅子、釣り具等イベント用具をセットして、万全の体制でお迎えしました。参加者が昼に食すニジマスの塩焼き50尾の捌きと串刺しを、村松さんと私が担当して、串刺しの実演もしました。塩焼き担当に渡されたニジマスは、丁寧に焼かれて、昼食の折りに食されて喜ばれました。一方、釣り指導は、最初はサポーターとの連携に欠けましたが、餌付けして一緒に振り込み、掛けた釣り竿を子どもに手渡し釣りあげて、ハリから外したサカナを、子どもがフラシ(魚籠)の中に入れてもらいました。中には、子どもが水辺に近付かず、私の腕に捕まって一緒に振り込んで、掛けたサカナを取り込みました。出だしは順番待ちの状態もありましたが、流れができるとあちこちで歓声上がるようになりました。



参加者テント風景

佐藤信道指導員・中澤会長



ニジマス塩焼き



## JOFI西東京 会長 中澤賢宏

2/2

「お土産を持たせて上げたい」との要望を受けて、皆さんが昼食をとっている間に、インストラクター総出の腕の見せ所となり、釣り上げた魚を捌き役の私と村松さんのところに運び、お土産としました。その後、慌ただしい中に本田さんの閉会の挨拶で終了しました。皆さん方が帰ったあとは、正にやりきった達成感と共に一気に疲れが出て、暫し放心状態。汗かきの馬場さんなどはげっそり朝会った時よりスマートになっていました。その後、皆さん一致協力して本田さんの車に全ての用具の収納を終わらせ、次回の行事への協力を約して解散となりました。さて、会員の皆さん本当に暑いですね！釣りをしているのでしょうか？決して「釣りをしない釣り師？」にならないでくださいね。私も83才になった今夏、好きなアユ釣りの釣果がめっきり落ちて、冷凍庫は隙間だらけです。年内迄は、数回の海の釣り物、月数回のハゼ釣り、毎月一回のリヴァスポット早戸でのテンカラ釣りに励もうと思っています。🐟



鈴木JOFI東京会長  
馬場・浅野 JOFI西  
東京副会長